

## 蛹が羽化し、蝶になり

謝智楠

高校三年生の時、私は将来を左右するだろう全国統一試験を恐れながら、一所懸命受験勉強をしていました。同時に、新しい大学院生活への憧れや不安などの気持ちを抱き、受験日・合格発表日を待ち続けていました。ここで言いたいのは、日本での大学院進学への準備は、中国の高校三年生の受験準備の日々と全く同じで、蛹が羽化し蝶になり、自分の夢が叶うプロセスだと思います。亜細亜友之会外語学院は皆さんの夢を叶えてくれる場所だと思います。

私は中南林業大学 4 年生在学中に、提携大学の留学プログラムを通して、亜細亜友之会外語学院に一年間留学に来ました。終了後帰国して、仕事を探るか日本で大学院に進学するかずっと悩んでいました。決断できず優柔不断の私に、校長先生と丁先生が何回も相談に乗ってくださり、貴重なアドバイスを頂きました。ようやく、大学卒業後、再び来日し亜細亜友之会外語学院の大学院進学コースに入ることを決心しました。

難しいことにチャレンジし、成功できたときの喜びは格段に大きく感じると思います。大学院受験は大変な苦勞を伴い、決して楽なことではありません。もし、大学院の受験を決めたら、まず苦勞と汗水を惜しまず頑張る覚悟をしたほうがよいと思います。全国統一試験がない日本の大学院受験は中国と全く異なります。まず、学校選び、専攻選び、教授選び、さらに自分の研究方向選びなど全て未知なチャレンジばかりです。大学院の受験準備の過程では、簡単に折れない忍耐力強い信念と忍耐力が必要だと思います。受験準備の過程に、様々な困難に遭遇し、亜細亜友之会外語学院の先生方のおかげで、全ての困難を乗り越えることができました。特に、宮原先生が残業をして私の研究計画書を直して下さい、過去問の勉強も指導して下さいました。また、校長先生にも特別にお礼を申し上げたいと思います。お忙しいにもかかわらず、校長先生が数回も面接の練習をして下さいました。校長先生のおかげで、勇気と自信を持てるようになりました。おかげ様で、上智大学大学院、大東文化大学大学院、明海大学大学院に合格することが出来ました。

絶対に妥協せず、自分の目標に向かって最後まで頑張らなければなりません。多くの人から、成功者は一握りなので現実的に考えなさいとよく言われますが、人間というのは夢を見るべきで、夢を持つことこそ成功への第一歩を踏み出すことができると思います。夢があれば、まず如何にそれを実現するかを考え、その夢に向けて果敢に挑戦して、そして行動することです。

成功への道は日差しが溢れた大通りではなく、時には凸凹と泥沼ばかりの険しい道ばかりかもしれません。自分の夢のために頑張る、成長していくことは何よりも心から嬉しいことだと思います。先輩の皆さんは自分の夢に向かって頑張る道中を楽しみ、また毎日を充実させ、必ず自分の夢を叶えるように最後まで諦めずに頑張ってください。

2013 年 3 月 6 日